



船橋市議会議員

船橋清風会

ながの春信

地元前原からパワフルに発信します!!

JR 津田沼駅北口に駅前交番を。

長野

津田沼駅北口は快速線停車駅であり、新津田沼駅からJR線への乗り換え、バスのターミナルとして多くの方が利用されています。また快速停車駅であり津田沼駅を利用する大学も多く、JR線の最終は午前1時過ぎまであり、飲食店も多いことから、夜中まで人通りが絶えない大変活気のある、にぎやかな街であると思います。先の第二回定例会一般質問にて津田沼を含む主要駅ターミナルにおける環境整備、防犯対策について「客引きや呼び込み等につきましては、平成26年4月1日に改正された千葉県迷惑防止条例において禁止されている行為であり、引き続き警察に対して、指導、取り締まり強化を依頼するとともに、町会自治会などの地域の皆様とも連携し、パトロールの実施や啓発活動により、安全・安心なまちづくりを推進してまいりたいと考えております」と答弁されていきました。その一環として本地域の自治会では毎月2回、夜9時から船橋東警察署の署員とともに防犯パトロールを実施しております。夜の繁華街での青少年への監視や黒服と言われる方々の客引き、呼び込みの禁止の徹底、違法駐車や放置自転車等の取締りなどで地域パトロールをしている箇所では様々な事故、事件が発生いたします。労働災害の例ですが、1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというハイネリッヒの法則があります。私は防犯パトロールに参加している一人として、全く同じことを感じております。特に飲食店が軒を連ねる「にぎ

平成27年第4回定例会

一般質問

(以下抜粋)

津田沼駅北口ベデストリアンデッキ上に置いた喫煙スペースは本年2月に撤去されました。習志野市行政による喫煙禁止の看板や路面シートも虚しくも、そこでは未だ多くの方が喫煙され、その場に吸い殻を捨て、朝になると大量の吸い殻が放置されている状況です。また、船橋市行政管轄の北口周辺、ぶらり北どりの狭い歩道を歩きながら吸う方も増加しております。船橋市行政側において素早く注意勧告表示を道路路上に表記いただきまして注意を促していただいております。ところでございますが、津田沼周辺には認可無認可を問わず多くの保育園、幼稚園そして小・中学校もあり、休日ともなれば多くのお子さま連れの家族が買い物をします。そこで質問させていただきますが、ベデストリアンデッキ上での喫煙を無くすよう、また北口周辺やぶらり北どりの狭い歩道での路上喫煙、歩行喫煙を無くすよう徹底することが出来ないのかご答弁ください。また、事故・事件が起きた周辺においては、警察の取り締まり重点エリアとして定期的に頻繁な巡回を強くお願いしたいと思いますが市のご見解をお伺いします。

津田沼には津田沼十字路そばに前原交番があります。しかし、にぎわい横丁の中心からはおおよそ300m程度しか離れていないにも関わらず、様々な事故・事件が起きます。交番が目立たない場所にあるためか、事件の抑止力効果がほとんど得られなかったのではないかと多くの市民の声を耳にします。

繁華街では、事件が起きる前に抑止力で未然に防ぐことが重要ではないのでしょうか。以前JR津田沼駅には線路沿いに交番があったのですが、今は、少々遠い場所に前原交番として移動してしまいました。津田沼駅周辺を歩いていると、「交番どこですか?」とよく尋ねられます。皆さんわかりづらいのです。あるだろうと思うところが無いのが今の交番と言えます。そこで、交番を抑止力を得られる場所に、そして津田沼を利用する方々がわかりやすい場所に移動することはできないのか。またマイクロス移動交番などを配置して頂くことが出来ないのか、お伺いいたします。

市民生活部長 重大な事件が起きた際には、これまでも警察に取締りやパトロールの強化を依頼してまいりました。今後も引き続き警察にパトロールの強化を依頼するとともに、地域の自主防犯パトロール隊との連携や啓発活動により安全・安心なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

交番の移設につきましては警察の所管事項であることから要望として伝えてまいります。移動交番の配置につきましては、船橋東警察署と協議してまいります。

環境部長 JR津田沼駅北口のベデストリアンデッキ上での喫煙を無くすよう、徹底することができないのかとのことでございますが、北口ベデストリアンデッキは、行政区域のほとんどが習志野市であることから習志野市が管理しております。習志野市の

長野 啓発活動もさることながら、船橋市路上喫煙及びポイ捨て防止条例第7条に規定する過料を伴う重点区域への指定、さらに習志野市と同様歩行喫煙の取り締まりを強化して頂きたいと思っております。

町会・自治会でお悩みは空き家の管理、対策です。船橋市担当課におきましては一つ一つ丁寧な所有者様とお話しいただき、解決に導いていくことには、感謝を申し上げます。しかしながら所有者が高齢者であったり、補佐してくれる家族と同居していないなどの場合、なかなか前に進まないケースも多く見受けられます。特に住宅密集地にある住宅は隣地との離れがほとんどないところも多く、長く空き家にしていますと蛇などが住み着き、隣地の家にまで入り込む事態も生じています。また外壁が剥がれ落ち、隣地の車や家を傷つけ

条例では、吸い殻の散乱防止及び歩行喫煙の禁止を定めており、路上喫煙自体は禁止としておりません。また、罰則規定は設けられておらず、啓発活動等を行うことで、マナーやモラルの向上に取り組むべきとしております。なお、本年2月に喫煙スペースを撤去するにあたりましては、多くの方々が行き交う場所であることを踏まえ、この場所での喫煙しないよう周知・啓発しているところでございます。

両市、それぞれの考えはございますが、北口ベデストリアンデッキを含めたJR津田沼駅北口周辺の喫煙者に対して、マナー向上を働きかけるため、平成18年から、船橋市、習志野市合同で、「歩きタバコ・ポイ捨て防止街頭キャンペーン」を実施しているところでございます。10回目となる本年も、去る10月23日に両市の地元町会・自治会、商店会などの協力を得て実施いたしました。

路上喫煙及びポイ捨て防止のためには、他市との連携はたいへん重要なことと考えておりますことから、今後も、あらゆる機会を捉えて、両市の地元町会・自治会等と協力をしながら、周知・啓発に努めてまいりたいと考えております。

次に、JR津田沼駅北口周辺での路上喫煙対策といたしましては、生活環境巡視員によるパトロールの実施や、路上喫煙及びポイ捨てを警告する案内表示の設置、路面シートを貼付するなど、周知・啓発に努めてまいります。

てしまうこともありましたが、歩行喫煙、煙草のポイ捨てが原因で火事などが発生したらあつといううまに燃え移ってくるだろうなど、心配が尽きません。

早めの対策を強く希望するところですが、市の見解をお伺いします。又、本年5月の空き家対策推進特別措置法の全面施行で対策の担い手である市区町村に立ち入り調査や行政代執行の権限が与えられました。木が道路上空まで伸び、電線に寄りかかり、枝葉は道路を超え向かいの家の庭に落ちる状況、町会の方々は長年にわたり落ち葉やごみを拾い続け、あそこは危ないから近づかないでと指導する。そんな状況においても所有者にお願いして、所有者の対応を待つといった対応しかできていないのが今の市の現状であります。次から次に効果的な対策を本気で考える必要があるのではないのでしょうか。市のご見解をお伺いいたします。

一つの例として、草を刈る、木を伐採す

放置された空き家の対策について

～東部公民館について～

長野 東部公民館建て替えについて、以前「平成27年度中に建設予定地を決定する」とご答弁されていますので伺います。

東部公民館建替事業につきましては、現地建て替えなのか、他の場所での建て替えなのかお聞きします。現地建て替えの場合、解体から完成まで早くとも3年かかると思いますが、その間全く使えなくなるのならば別の候補地を選定し継ぎ目なく使用できる方がいいという声も多くあります。ご答弁ください。また隣接する消防分団器庫との連携はどうするお考えなのかご答弁をお願いします。以前のご答弁で「公民館を建設するに当たりましては地元自治会や町会、また、利用団体の皆様方を対象に、説明会を開催して、建設へのご理解・ご協力をお願いいたします」とともに、アンケート調査も行い、いただきましたご意見を設計等に反映させ、市民の皆様と協働で行ってきた。東部公民館の建て替えにつきましても、

る、家を解体するなどには、それなりに多くの費用がかかります。市のご担当者から例えば空き家を利用した犯罪の発生、浮浪者の居住、火事などの危険性を指摘されれば、所有者はすぐにでも何とかしたいと思っただけです。それでも、対応することができないのには経済的な事情などもあるかもしれません。そのような方に対して、例えば、市の指導、基準に従い解体する所有者に対しては費用の一部を貸し付けるなどの規定があることで前進するケースもあるものと思います。また土地建物の寄付を条件に、市が全額公費で空き家を解体し跡地を公共の場として整備している自治体もあるようです。空き家の主な対策は除却と活用であるのではないのでしょうか。市のご見解をお伺いします。空き家等対策の推進に関する特別措置法第2条にいう「特定空き家」の判断や認定、また14条に指導・勧告・命令が、9項において行政代執行まで定められておりますので、この具体的な判断そして認定等について細かく規定する必要があると考えますが市のご見解をお伺いいたします。

放置空き家を利用した犯罪、それを原因とした事件、事故など、なかあつてからでは遅いので、危険切迫時には、緊急安全措置を実施するなどの整備も含めご検討いただきたいと考えますが、ご答弁をお願い致します。

市民生活部長

はじめに早めの対策ということですが、管理不全な空き家につきましても、所有者、或るいは相続人等において、適正な管理がなされるのが基本であり、所管課においてこれらの管理すべき者に対し、速やかな対応をお願いしているところでございます。しかしながら、議員ご指摘のとおり、所有者等の様々な事情により対応が進まない物件もあります。近隣住民や地域にとつて様々な弊害となつていくことは十分認識をしているところであり、引き続き管理不全な空き家の速やかな解消に鋭意努めてまいります。

次に空き家の利活用についてですが、空き家特措法の規定に「空き家等に関する対策についての計画」の策定がございします。今後は、空き家の利活用も含め、市全体の空き家対策を総合的かつ計画的に実施して行くための施策を盛り込んだ計画の策定をH28年度中に整備してまいりたいと考えております。

次に特定空き家・勧告・命令等の規定の整備についてですが、これらの規定につきましても、現在策定の準備を進めているところでございます。

最後に緊急時の対応ということですが、必要に応じて消防局、警察と連携しながら対応してまいります。

平成27年 第3回定例会 決算特別委員会

平成26年度決算特別委員会にて質問いたしました。(以下抜粋)

「小中学校全国大会遠征費について」

長野 前年度決算から減額の決算となつております。補助対象となる経費には参加する為に要した交通費・宿泊費・食料費に相当する額から、小中体育連盟からの補助金枠を差し引いて、補助していると思われまふ。特に平成26年度は吹奏楽・管弦楽・音楽・ギターなど文化の部において、小学校では6校・中学校では5校が全国大会へ、スポーツの部では、前原小学校ソフトボール部が全国大会へ、中学校5校では、柔道・陸上・水泳で全国大会。ジュニアオリンピック出場するなど、輝かしい成績をおさめております。前年度に比較しまして、各小中学校の全国大会出場が多くなりましたが、この度、減額となつた理由には何があるのか。

保健体育課長

小中学校における関東大会・全国大会等における、まず派遣費につきましては、毎年度、派遣に関わる予算につきまして、その大会に勝つて進出する生徒の数が差が出ておりますので、その分で多少の予算・決算の上下が出てきております。

長野

現実の声としてですね、全国大会への遠征費・いわゆる交通費・宿泊費などの捻出に、その部に所属する保護者の負担が大きいという声もあります。その為OBの方

ろでございします。

次に、隣接する消防分団器庫についてですが、現在の東部公民館は、津田沼連絡所も併設する施設となっております。現地での建替えとなつた場合には、当然ながら、これらの施設のあり方についても検討する必要があると思います。

また、公民館部分の必要となる床面積なども考慮しながら、関係各課と協議をすることになると考えます。

最後に、東部公民館においては、すでに、平成25年7月から26年1月にかけて、公民館利用者等(306人)を対象に、東部公民館建替えに関するアンケートを実施しています。また、これまで、地元自治会や東部公民館利用者連絡協議会、前原地区社会福祉協議会などの方々との意見交換を3回実施しております。

今後につきましても、地元の方々と説明会や意見交換会を行い意見を取り入れながら、事業を進めてまいります。



などに援助をお願いしている実態もありますけれども、この補助金制度があるのですが、そのような実態が生まれているという理由がどこにあるのか。

保健体育課長

全国大会に関しましては、県からの補助がまず出ますので、その額で不足の分につきましては、市から補填をして受給をしております。また県大会につきましても、完全に市からの補助という事で、保護者の方の負担はないようになつておるのですけれども、恐らく県・関東と大変遠くまで行きますので、壮行費等を大分お気遣いをして頂いてるところで出ているのではないかと思われますが、交通費・宿泊費等につきましても、負担をしている所でございます。

「障害者福祉について」

長野

移動支援事業費について伺います。この移動支援事業とは福祉の向上に欠かせないものであると、大変意義深い支援であると思ひます。しかしながら521名(平成26年度)の利用ということで非常に少ない利用数だつたのではないかと思ひます。移動に支援を必要とする方々の潜在ニーズは大変多くあります。しかしこの移動支援が限られた方々にしか提供できていないのではないかと感じています。制度の狭間で悩む利用者の声があります。訪問支援を事業として

いる事業所が移動支援を行うことが出来き、他の例えば日中一時サービス、放課後デイ、就労系事業所などの事業所は対象になつていないという現実があります。潜在ニーズには学校からの事業所への送迎や自宅からの送迎、土日働く保護者にとっては日中系施設への送迎があることで利用者はもちろん、保護者自身の社会参加の幅も変わってくる。この移動支援事業とは福祉の向上に欠かせないものであると、今後とも増やしていけないかと思うが市の見解を伺う。

障害福祉課長

移動支援事業の拡充につきましまして、今後とも拡充していかなければならないという認識を持っています。そういうことから、事業所設置法人の集まりであります船橋市施設連絡協議会、船橋障害者地域福祉連絡会が開催される際や、年度末に開催を予定しております市内の事業所への制度改正や実地指導での指摘事項等の説明を行う集団指導の機会をとらえて、事業参加等をお願いをしていく予定でございます。

長野

障害者成年後見支援センターに

つてお伺いします。

「市民後見人」の養成講座について、一般市民が後見人となることは、できることは公的サービスから市民の皆様に担つていただくことになり、その養成には今後も力を注いで頂きたいものであります。しかし参加者数が27名(平成26年度実績)と少ないが、この周知方法はどのような形でおこなつたのか。この市民後見人という役割はなにも特別な方、福祉関係者のみならず、全く違う分野で活躍される方たちのお力や声は絶対必要だと思います。そしてそのお力や声はかき消されることのないよう100人、200人、1000人、2000人といった規模にして、初めて生きるものと考えますが、この市民後見人養成事業を発展させるため、今後どのような展開を考えているのか。

障害福祉課長

今後の高齢化社会を踏まえ、成年後見に対するニーズが高まるという認識でおります。後見人のなり手となる弁護士などの専門職がさらに不足していくことも考えられますので、広く市民・後見制度の理解を深めていくために、今後とも市民後見人養成講座を継続し開催して参りたいと考えております。

長野

障がい者に関する様々な施策において、ハンデを背負つていても人が手を貸すだけで普通に生活できるんだということを、地域で暮らす一員であることを地域に浸透させていくことも重要です。福祉が弱者の救済のみで終わるのではなく、公的サービスからお互いが支えあふ地域社会となることを念頭に

長野

本決算書では細かいところまで記載がなかったこともあり総括にて質問します。「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律」が施行されている。これは障害者就労施設等からの官公需を推進することを目的としているが、船橋市役所の中での取り組みについて伺う。

福祉サービス部長

この法律は、障害者就労施設等で就労する障害者の経済的自立を進めるため、国、地方公共団体などの公的機関が、物品、サービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的、積極的に購入することとを推進するために制定され、平成25年4月からスタートいたしました。本市の取組の目標額を設定いたします。庁内に優先調達推進法の周知を図りながら、調達するよう依頼しているところでございます。該当がありそうな課には、担当が行き、説明もしているところでございます。25年度、26年度とも目標額はクリアしているところでございます。さら

に拡大に向けての問題点ですが、まず供給で
きるものが限られていることがあげられます。
例えば菓子、パン、木工等記念品、役務の提
供など、官側の需要とのミスマッチがありま
す。また値段、価格が比較的高くなっていま
す。これは大量生産する民間となかなか対抗
が出来ない、それから作業効率が余り高くな
いということでもあります。そうしたことから
随意契約で対応できるように状況になつて
おるところでもございます。引き続き法の周
知に努めるとともに、調達額の拡大に努め
たいと思っております。さらに事業所に対
しても供給ができるよう市といたしましても話
合いを進めていきたいと考えております。

「通園通学路整備費」について

長野 通園通学路整備費において平成
26年度に行われた代表的な整備の具体的内容
について伺う。

道路建設課長 繰越工事で17校、現年
工事で7校あわせて24校の小学校において、
通学路において路側帯のカラー舗装、危険な
箇所の交差点のカラー舗装などでありま
す。

長野 各学校や、また地域団体など
も通園・通学路の危険というのは相当多く指
摘されています。その現場の声と比較すると
ですね、この度の決算額というのが少ないよ
うにも感じます。この整備費を使うまでに至
るプロセス、いわゆる現場の声から始まり、
整備に至るまでのプロセスがどうなっている
か伺う。

道路建設課長 前年度の決算額が大き
いことは、平成24年の夏、7月、8月に、通
学路緊急合同点検というものを先行して、
その時に全国一斉に行つた結果、安全対策が
必要だというのが多く、115ヶ所出まし
た。それについて平成25年3月の議会で補正
を組んで処理致しました。平成26年度からは、
船橋市通学路交通安全プログラム、これは教
育委員会の方で立ち上げていっているんです
けども、そこらの方でやはり同じように、毎年いくつ
かの学校の通学路の合同点検を実施して、そ
こで出た必要な安全対策について、教育委員
会の方から、道路部の方に依頼がきて実施す
る事となっております。

長野 115ヶ所という事で、平成26
年も交通安全プログラムをやられているという
事で、まだまだ未整備の所があるという理解
でよろしいか？

道路建設課長 平成24年の合同点検
115ヶ所については全て終わつておるの
ですが、それだけでは済まない事から、平成26
年度から交通安全プログラムを立てて、再度
点検をやっております。

町会・自治会と共に歩む 地域福祉の向上

◆前原東4丁目の空き家、草木の越境による
歩行障害について

越境している草木につきましては、伐採さ
れましたことを確認いたしました。同様の事
案が町会よりご報告されております。今後と
も町会と連携し、取り組んで参ります。



上記は陳情、
空き家による
草木の通行被害。
解決しました。

◆前原西3丁目 前原小通学路の側溝蓋・
グレーチングの危険箇所について

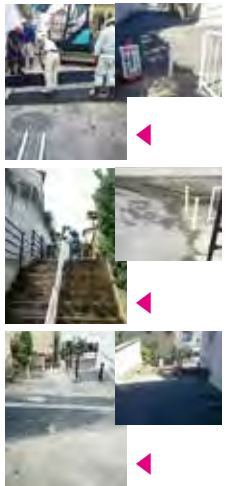
小学生がグレーチングに乗ると片方が跳ね
上がるなどの危険箇所については、アスファ
ルトカッターを入れ、側
溝の歪みを直すことで、
蓋、グレーチングのガタ
ツキを直し、安全性を確
保する工事が完了しまし
た。



※写真は施工前の危険な状態

◆前原西8丁目 雨水流出による歩行障害に
ついて

関係各課と協議の上、雨水配水桝を新たに
設置することとし、先日工事が終わりました。
大雨の時でも歩行に支障はなくなりました。



◆中野木川へ流入する雨水の円滑な流れを確保
する保全作業

中野木川の一部に拡幅整
備が未了の部分がございます。
大型の台風などの際には
は雨水の流込みが悪くなる
ことが予想されます。拡幅
にはまだまだ時間がかかり
ますが、被害を最小限に抑
えるために、雨水の流込みが阻害されないよ
うに市役所により、保全作業を行いました。

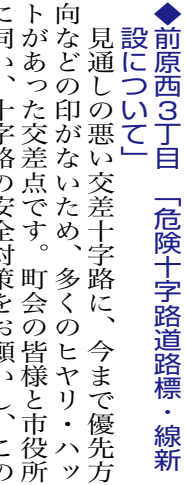


◆前原東郵便局隣の馬頭観音にある大木の枝
切りが本日完了いたしました

10年以上伐採されていましてしたので電
線に草木が寄りかかり、また大型車両など
は枝木に当たっております。

◆前原西3丁目 「危険十字路道路標・線新
設について」

見通しの悪い交差点十字路に、今まで優先方
向などの印がないため、多くのヒヤリ・ハッ
トがあつた交差点です。町会の皆様と市役所
に伺い、十字路の安全対策をお願いし、この
度完了いたしました。

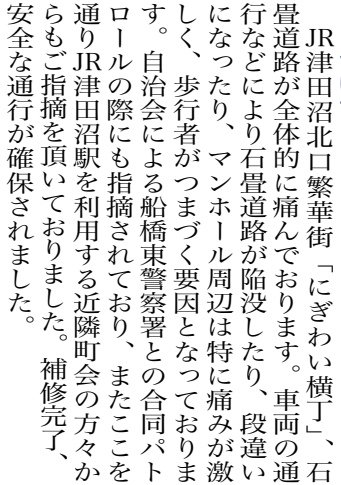


◆津田沼繁華街 「にぎわい横丁」道路整備
について

JR津田沼北口繁華街「にぎわい横丁」、石
畳道路が全体的に痛んでおります。車両の通
行などにより石畳道路が陥没したり、段違い
になったり、マンホール周辺は特に痛みが激
しく、歩行者がつまづく要因となつておりま
す。自治会による船橋東警察署との合同パト
ロールの際にも指摘されており、またここを
通りJR津田沼駅を利用する近隣町会の方々か
らもご指摘を頂いております。補修完了、
安全な通行が確保されました。



安全対策
ドット
線により
優先方向
を明示し
、安全に
通行でき
るよう注
意喚起す
る看板を
設置した
ことによ
り、安全
な通行が
確保され
ました。



施工前
施工後



施工前
施工後

◆前原東5丁目 二宮小学校通学路車道アス
ファルト亀裂

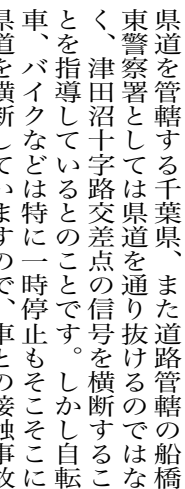
亀裂の激しい市道、合計8ヶ所にアスファ
ルト補修工事が入りましたのでご報告申し上
げます。



施工前
施工後

◆津田沼県道69号と新京成踏切部分の通行に
ついて

JR津田沼北口 津田沼十字路を走る県道
69号線と新京成電鉄 線路との交差点の安
全対策についてお話を頂いております。朝
の通勤時、夕方の帰宅時などは線路沿いに県
道を横断する方が非常に多い場所です。また
朝夕は渋滞も激しいため、その車をすり抜け
るように自転車、歩行者が県道を横断しま
す。県道を管轄する千葉県、また道路管轄の船橋
東警察署としては県道を通り抜けるのではな
く、津田沼十字路交差点の信号を横断するこ
とを指導しているとのこと。しかし自転
車、バイクなどは特に一時停止もそこそこ
県道を横断していますので、車との接触事故
が起きないように、「注意・警告」を目立つよ
うに道路に、また

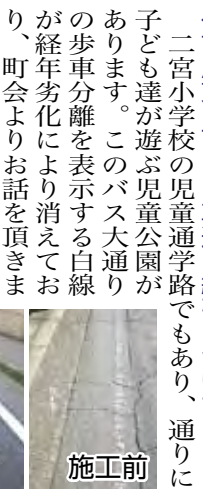


◆前原東5丁目 車道白線引について

二宮小学校の児童通学路でもあり、通りに
子ども達が遊ぶ児童公園が
あります。このバス大通り
の歩車分離を表示する白線
が経年劣化により消えてお
り、町会よりお話を頂きま
した。現地を確認し、総延
長距離約600mにわたり
白線を引き直す工事が完了
いたしました。



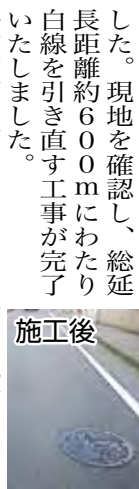
施工前
施工後



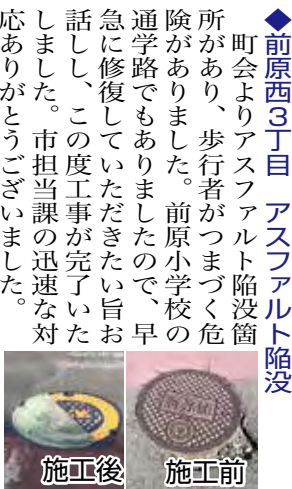
施工前
施工後

◆前原西3丁目 アスファルト陥没

町会よりアスファルト陥没箇
所があり、歩行者がつまづく危
険がありました。前原小学校の
通学路でもありましたので、早
急に修復していただきたい旨お
話しし、この度工事が完了いた
しました。市担当課の迅速な対
応ありがとうございました。



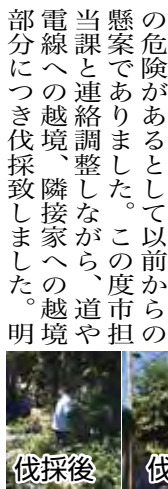
施工前
施工後



施工前
施工後

◆前原西2丁目 放置空き家の枝切り

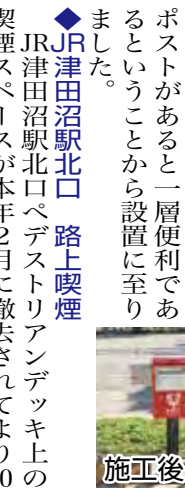
お祭りなどで使用する前原西公園の隣接地
は長年にわたり空き家となり、何ら管理され
ないまま放置されておりました
自治会内においても火災発生等
の危険があるとして以前からの
懸案でありました。この度市担
当課と連絡調整しながら、道や
電線への越境、隣接家への越境
部分につき伐採致しました。明



伐採前
伐採後

◆郵便ポストを新規に設置しました

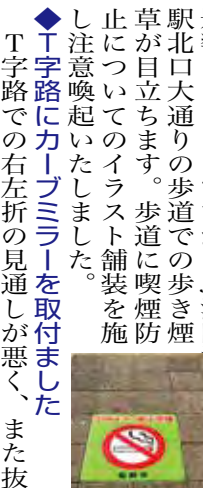
前原東5丁目にある公園に郵便ポストを設
置いたしました。大きな公園
のある町会は新しくお住まい
になられた若い方、昔から住
んでいる方などが集まる賑や
かな公園で、老若男女問わず
多くの方が利用されています。
ポストがあると一層便利であ
るということから設置に至り
ました。



施工前
施工後

◆JR津田沼駅北口 路上喫煙

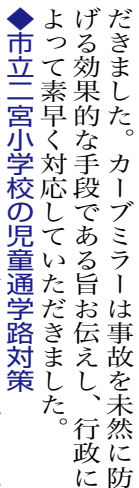
JR津田沼駅北口ペデストリアンデッキ上の
喫煙スペースが本年2月に撤去されてより10
ヶ月が経ちます。喫煙スペースが無くなった
影響もあるようですが、JR津田沼
駅北口大通りの歩道での歩き煙
草が目立ちます。歩道に喫煙防
止についてのイラスト舗装を施
し注意喚起いたしました。



施工前
施工後

◆T字路にカーブミラーを取付ました

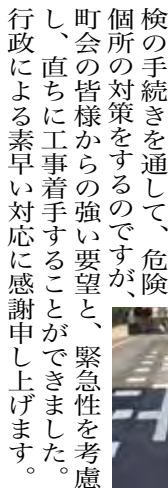
T字路での右左折の見通しが悪く、また抜
け道として車やバイクの通行量も比較的多
い箇所です。約5年前前に右折
側のカーブミラーを取り付け
た経緯がありましたが家が新
しく建築されたりと周囲の状
況が大きく変わりました。現在の道路状況に
合わせ、カーブミラーを新規に設置し、旧来
のカーブミラーの位置調整などをさせていた
だきました。カーブミラーは事故を未然に防
げる効果的な手段である旨お伝えし、行政に
よって素早く対応していただきました。



施工前
施工後

◆市立二宮小学校の児童通学路対策

前原東郵便局前のT字路はコーナがあり、
車を運転する側からは見通しが利かないまま
横断歩道のあるT字路に侵
入するなどの危険がありま
す。またコーナを越えて
すぐに横断歩道があるため、
児童との接触が危惧される
箇所です。道路上にカーブ
ミラーを設置し「赤塗舗装」を
施していただくとともに、一
時停止を運転者に一目で分
かる道路表示を施してい
ただきました。本来なら5
年に一度ある学校通学路点
検の手続きを通して、危険
箇所の対策をするのですが、
町会の皆様からの強い要望と、緊急性を考慮
し、直ちに工事着手することができました。
行政による素早い対応に感謝申し上げます。



施工前
施工後

船橋市ふなばし三番瀬海浜公園の改修について



- 一、計画の概要
- 船橋市ふなばし三番瀬海浜公園は、昭和57年7月に京葉港1期埋め立て事業の中で、人工海浜を利用した潮干狩りや屋外プールなどの事業をメインとしたレクリエーション施設として建設されました。平成4年には、南部清掃工場の余熱を利用した温水プールやトレーニングを整備した温水プール棟を建設しました。プール開催時及び潮干狩り開催時は毎年多くの利用客で賑わう施設でした。
 - しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本震災の影響により液状化の被害を受け、各施設の運営が行えない状況となりました。
 - 市では各施設の今後の在り方について検討を行い、プールについては、潮見町地区での再建築を見合わせることにしました。
 - 今後の公演の在り方について、平成24年度に基本構想を策定し、ふなばし三番瀬海浜公園の温水プール棟及び屋外プール跡地を中心としたエリアを、三番瀬の魅力を活かした自然体験・環境学習の場としてリニューアルすることとして決定しました。
 - これを受け、平成25年度は設計者選定のためのプロポーザルコンペを実施、平成26年度から27年度にかけて基本実施設計を実施しました。
 - 改修工事は平成27年度後半から平成28年度の2ケ年で行い、平成29年7月に新たな施設をオープンする予定です。

二、ねらい、目指すところ

- 市内で唯一、直接海（三番瀬）に触れることができる立地を活かし、三番瀬の自然体験と、三番瀬の仕組みや現象、歴史や営みなどを学ぶ展示や体験プログラムを通じて、三番瀬さらには環境に興味を持ってもらうことを目的としています。

ながの春信の未来展望

1. JR津田沼駅北口の歩道駐輪の解消

来年度の「自転車等の駐車対策に関する総合計画」において、第4自転車駐輪場の階層化、並びに東部公民館建て替え時における駐輪場の確保による駐輪場増設を目指します。

2. 新京成線立体化へ向け動きます。

船橋市都市計画審議会にて「都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針」にて「交通渋滞の緩和を図るため、鉄道事業者と調整を図りながら新京成線の連続立体化について検討を進める」と基本方針が出されました。

3. 津田沼十字路から296成田街道、都市計画直轄津田沼駅前原線の拡幅に向け動きます。

「主要な施設の整備目標」『都市計画道路、3・4・26号津田沼駅前原線。おおむね10年以内に整備を予定する施設』と基本方針が出されました。

4. 人口増が予想される前原地区、子ども達の学習スペースをしっかりと確保した小中学校のクラス配置実現に向け動きます。

ながの春信 プロフィール

経歴

1972年2月13日生まれ（平成27年4月現在 43歳）
 船橋市立二宮小学校 卒業
 船橋市立二宮中学校 卒業
 日本大学習志野高等学校 卒業
 日本大学法学部政治経済学科 卒業
 一般財団法人長春会障害者就労継続支援事業B型前理事長
 社会福祉法人長春会たちばな保育園前園長
 長野土地建物・長野建設（株）前役員
 公益社団法人千葉青年会議所OB
 2013・2014年度船橋市立前原小学校PTA会長
 2014年度船橋市PTA連合会副会長
 船橋東ロータリークラブ会員
 船橋市消防団第13分団2班 団員
 船橋市前原商店会 理事
 平成27年 船橋市議会議員選挙初当選



資格

社会福祉主任任用資格
 介護福祉士
 二級ヘルパー
 知的障害者ガイドヘルパー
 一級建築施工管理技士
 一級土木施工管理技士
 一級管工事施工管理技士
 二級建築士
 日本傳天心流空手 二段

- 三、計画概要
- 公園全体としては、今までレジャープールとして利用されていた経緯や、潮干狩りが盛況なこと、まずは（立地条件が悪いので）この場所に来てもらい、環境学習にもつながりたいといったことから、環境学習に限らず楽しめる施設（集客施設）も必要と考えており、屋外部分については、学習以外の要素を中心とした施設内容としています。
 - 三番瀬の眺望や広場で行われるイベントを楽しむ展望デッキや、イベント広場としても活用でき噴水広場、様々な体験学習プログラムが展開できるスペースなどを整備します。
 - 環境学習館は、従前、温水プールを中心としていた施設を改修して整備します。



ご意見・ご要望、市の施策に対する
ご質問をお寄せください！

議会や委員会に取り上げてほしい事項がありましたら、FAXまたはメールにてお寄せください。議会・委員会での質問や要望は市の事業に係るものとさせていただきます。その他、国や県に対するご要望・陳情も、お寄せください。

LINEにて地域福祉の向上への取り組みなどを配信しております。
ご希望の方はご連絡下さい。

ながの春信 事務所 TEL:047-474-4718

〒274-0825 千葉県船橋市前原東1-16-1 ベルメゾン1F

FAX:047-474-4719

Email:harunobu@choshunkai.jp

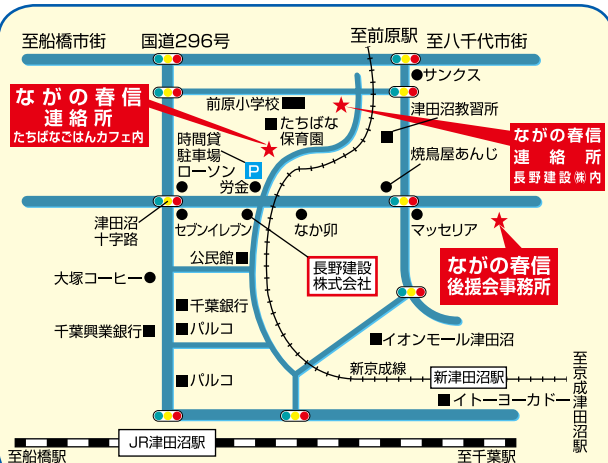
※必ずお名前とご連絡先をご記入ください。

長野春信

検索

<http://choshunkai.jp/>

携帯からもアクセスできます！



地道に要望の収集や政策立案、広報、ボランティア活動など、精力的に活動しております。